

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	海上輸送の環境性能向上のための総合対策		担当部署	海事局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H21/H25(予定)		担当課室	船舶産業課 安全基準課	課長 今出秀則 課長 平原祐		
会計区分	一般会計		施策名	地球温暖化防止等の環境の保全を行う			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	国土交通省成長戦略海事分科会報告			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球温暖化防止への取組が喫緊の課題となっている中、運航コストの低い船舶の選択・開発技術の差別化を可能とする実際の運航状態での船の燃費を設計段階で評価できる指標の開発(環境性能の視覚化)と国際標準化等を総合的に実施し、船舶からのCO2排出削減の基盤を整備する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	従来統一的手法がなかった実海域を航行する船舶の燃費を評価できる手法を開発し、これを基に、実際の海象・運航状態における船舶の燃費(CO2排出量)を示す指標を開発するとともに、指標の信頼性、公正性を担保するための認証システムを構築する。併せて、燃費性能の維持・向上を図りつつ、NOxを劇的に削減する船用エンジンの開発等を一体で推進する。また、IMOにおける環境規制に関する議論を主導するとともに、国際条約等に基づく船舶からのNOx規制に対処する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	-	-	-	0	
		繰越し等	-	-	-	0	
		計	119	89	74	45	
	執行額	115	86	71			
	執行率(%)	96.9%	96.8%	95.6%			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	環境対策を実施する上で必要となる基礎的技術開発を目的とした研究であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	環境対策を実施する上で必要となる基礎的技術開発を目的とした研究であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	技術研究開発謝金	0					
	技術研究開発調査旅費	3					
	技術研究開発委員等旅費	0					
	技術研究開発調査費	2					
	技術研究開発委託費	39					
	計	45	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国際的規制強化に向けた検討を我が国がリードするための技術開発等に係る調査研究であることから、国が実施している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	これまでの研究成果や抽出された課題への対応など、真に必要なものに限定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果物は、国際会議や実用化に向けた議論などにおいて十分に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>外部支出(委託費)については、企画提案を募集する際の提案要領について汎用性を高めることにより、多様な提案から最も効果的な研究開発方法を選択すると共に、仕様書の作成時には、研究開発の目的を適確に達成するための無駄のない実施方法について検討を行い、同じ予算で、さらに大きな成果を引き出すよう引き続き努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	334	平成23年行政事業レビュー	311

※平成23年度実績を記入

国土交通省
71百万円

旅費、委員等旅費、謝金、消耗品
6百万円

国の行政に必要な技術的知見を得るための研究開発に必要な調査等を実施

【企画競争】

A.(独)海上技術安全研究所
6百万円

燃料噴射系改良（燃料噴射弁、燃料噴射ポンプ）による燃焼改善技術、SCR（選択接触還元）脱硝装置に関する調査研究

【企画競争】

B.共同企業体（1企業体）
58百万円

SCR脱硝装置の脱硝性能及びその信頼性の確認を行うための実船試験

【少額随契】

E.(社)海洋水産システム協会
1百万円

小型漁船の主要目・主機関出力や総トン数別による地理的分布等についての調査研究

【外部委託】

C.(株)赤阪鐵工所
8百万円

尿素水を手配し、試験船に搭載

【外部委託】

D.(独)海上技術安全研究所
1百万円

実船試験の補助業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(独)海上技術安全研究所			E.(社)海洋水産システム協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	物品購入等	6	人件費	研究補助者	1
人件費	研究補助者	0	その他	諸経費	0
旅費	調査旅費	0			
計		6	計		1
B.三菱重工業(株)／日本郵船(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
試験費	実船試験運航に係る経費	35			
人件費	研究補助者	10			
外部委託費	尿素水手配・搭載、実船試験補助	8			
その他	諸経費	5			
計		58	計		0
C.(株)赤阪鐵工所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究補助者	3			
手配費	尿素水手配	3			
輸送費	ポンプユニット輸送	1			
その他	機器レンタル等	1			
計		8	計		0
D.(独)海上技術安全研究所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	調査旅費	1			
その他	消耗品購入等	0			
計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.(独)海上技術安全研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)海上技術安全研究所	燃料噴射系改良による燃焼改善技術、SCR(選択接触還元)脱硝装置に関する調査研究	6	随契(企画競争)	98.5%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.三菱重工業(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱重工業(株)／日本郵船(株)	SCR脱硝装置の脱硝性能及びその信頼性の確認を行うための実船試験	58	随契(企画競争)	99.8%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.(株)赤阪鐵工所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)赤阪鐵工所	SCR脱硝装置に係る実船試験に必要な尿素水の手配及び試験船への搭載	8	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.(独)海上技術安全研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)海上技術安全研究所	SCR脱硝装置に係る実船試験の補助業務としての調査	1	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.(社)海洋水産システム協会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)海洋水産システム協会	小型漁船の主要目・主機関出力や総トン数別による地理的分布等についての調査研究	1	随契(少額)	100
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					